

Title	編集後記
Author(s)	澤井, 努
Citation	いのちの未来 = The Future of Life (2017), 2: 141-141
Issue Date	2017-02-18
URL	http://hdl.handle.net/2433/218227
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

編集後記

昨年（2016年）1月に、カール・ベッカー研究室紀要、『いのちの未来』を創刊したが、早いものでもう一年が経過した。今年も本誌（第2号）をこうして刊行できるのは、ベッカー研究室に関わる多くの方々のお力添えのおかげである。ここでは編集後記にかえて、特にお世話になったの方々のお名前を挙げ、謝辞を述べることにしたい。

本号の刊行に際しては、すべて「依頼論文」という形をとった（そのため、今回に限って、査読は行っていない）。そして、本号に掲載されている論文8本はすべて、カール・ベッカー研究室のOB・OGなど、同研究室に縁のある方々に執筆を依頼した。皆さんには、大変お忙しくされている中、われわれ編集委員会の依頼を快諾し、寄稿していただいた。何よりもまず、本号に掲載されている著者の方々にお礼申し上げたい。

また創刊号と同じように、本号の編集に当たって、編集委員の株本千鶴氏、赤塚京子氏には大変お世話になった。両氏には、ご自身のご研究がある中で、本誌の編集作業に迅速かつ丁寧に対応していただいた。刊行日を2017年2月18日に照準を合わせた際、私自身、編集委員長として出来る限りのことをしようと思っただけだったが、株本氏と赤塚氏の協力がなければ、本号の刊行はずっと遅れていたであろう。両氏には記して感謝の意を表したい。ただし、本号における編集上の誤り等があるとすれば、すべて編集委員長の責任である。もし何かお気づきの点がある場合は、(kiyouinochinomirai@gmail.com)までメールをいただければ幸いである。

本誌（第2号）の刊行に直接携わってくださった方々へのお礼は以上であるが、そもそも『いのちの未来』を刊行することができるのは、カール・ベッカー先生はもとより、編集顧問の林貴啓先生、編集副顧問の山崎浩司先生のおかげである。編集委員会を代表し、あらためて先生方に深謝申し上げたい。

澤井 努

京都大学 iPS 細胞研究所

上廣倫理研究部門

特定研究員